

神奈川県は横浜市立大学と協働で 保育・教育施設の「防災力」を高める取組を実施！

神奈川県は、保育・教育施設の防災対策について、区内の保育園や幼稚園の関係者による検討を行い、災害に備えるポイントをまとめた「保育・教育施設向け+αの防災ガイド」を作成し、その内容を実践する連続講座を横浜市立大学と協働で実施することとしました。

本ガイドは、家族と離れて過ごす乳幼児期の子どもたちのいる保育・教育施設が非常時の対策に取り組むために、日ごろからの備えや、地域の方々と普段から「顔の見える関係づくり」をしておくことの大切さ等を掲載しています。

この内容を実践するため、神奈川県では独自に「保育・教育施設防災アドバイザー派遣事業」を横浜市立大学と協働して実施することとし※、その第1弾として、保育・教育施設向けの連続講座を開催します。

※神奈川県と横浜市立大学は5月、市大教員が持つ専門性や大学の「知」のリソースを活かして地域課題の解決を図ることに合意し『「まち保育」の観点から取り組む保育・教育施設の共助構築に向けた検討・実践』を協働で実施

「保育・教育施設向け+αの防災ガイド」

URL : https://www.city.yokohama.lg.jp/kanagawa/kurashi/kosodate_kyoiku/hoiku/bosaigaido.html



「まち保育」の理解と防災力強化 連続講座 ～保育・教育施設の地域連携の在り方を考える～

内容：「まち保育」とは子どもが身近な地域と一緒にまちで育っていく土壌づくりのことで、施設が連携すべき地域とは誰を指すのか、地域との連携はどのようにすれば進められるのかなど、施設自らが実行できる手法を講義やワークショップを通して検討します。

日程：令和元年6月14日（金）、10月24日（木）、令和2年2月19日（水）

対象者：神奈川区内保育・教育施設の関係者であれば、誰でも参加可能（受講料：無料）

会場：神奈川県役所本館5階 大会議室

講師：三輪 律江（横浜市立大学 国際教養学部 准教授）

（株）坂倉建築研究所、横浜国立大学を経て2011年4月より現職。専門は建築・都市計画、参画型まちづくり、こどものための都市環境。「子ども」と「まち」との関係に着目した調査研究を数多く手掛ける。『まち保育のススメ（萌文社、2017.5）』代表著者。

稲垣 景子（横浜国立大学 大学院 都市イノベーション研究院 准教授）

専門は地域防災、都市解析。自治体において都市防災や都市計画に関する委員会・審議会などの委員を務める。安全に安心して暮らすことのできる地域づくりを目指し、ハードとソフトの両面から幅広く研究している。『まち保育のススメ』共著者。

※申し込み方法等の詳細は、ホームページをご覧ください。

URL : https://www.city.yokohama.lg.jp/kanagawa/kurashi/kosodate_kyoiku/hoiku/machihoikukouza.html

お問合せ先

「保育・教育施設向け+αの防災ガイド」、「まち保育連続講座」、取材の申込について」

神奈川県 子ども家庭支援課長 岩松 美樹 Tel 045-411-7112

「横浜市立大学教員による地域貢献活動について」

横浜市立大学 企画財務課 企画担当課長 小松 利行 Tel 045-787-2405